

SHINWA

# FRESH FLASH

INFORMATION

VOL.23, FEB.1995

LC

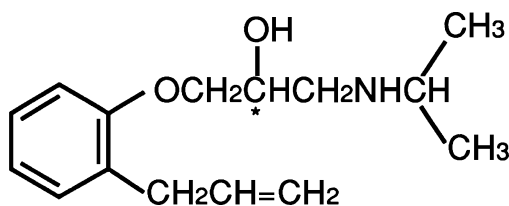
従来のタンパク結合カラムの常識を超えた  
カラム安定性を実現！

## ULTRON ES-PEPSIN

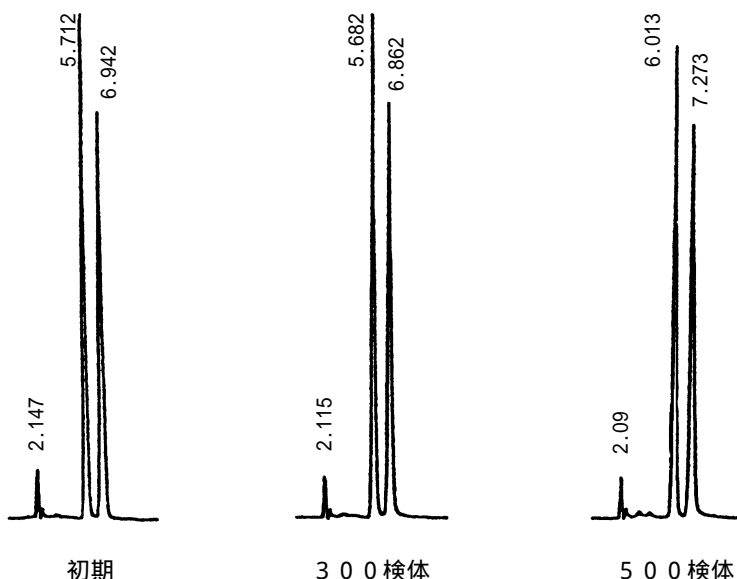
アミノ化シリカゲルに、ブタ胃粘膜由来のポリペプチド分解酵素である  
ペプシンを安定化した状態で化学結合しています。

### カラム安定性試験

Conditions  
Column : ULTRON ES-PEPSIN  
Column Size : 150mm × 4.6mm I.D.  
Mobile Phase : 20mM-phosphate buffer (pH5.0)  
/ C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>OH=95/5  
Flow Rate : 1.0 ml/min  
Temperature : 25 °C  
Detection : UV-220nm  
Injection : 0.6 mg/ml, 0.9 μl



Alprenolol



Chromato Packings Center は信和化工株式会社の登録商標です。



Chromato Packings Center  
信和化工株式会社

〒612-8307 京都市伏見区景勝町50番地  
電話 075-621-2360  
FAX 075-602-2660  
e-mail: info@shinwa-cpc.co.jp

# ULTRON ES-PEPSIN カラムの使用法

タンパク結合光学分割カラムは、溶離液 pH、有機溶媒の種類と濃度、イオン強度、温度のパラメーターを組み合わせる事で光学分割の最適化をはかります。

## 溶離液 pH

使用範囲 pH 3 ~ 6 でご使用下さい。  
光学認識能は pH 5 において最大の値を示します。

## 有機溶媒の種類と濃度

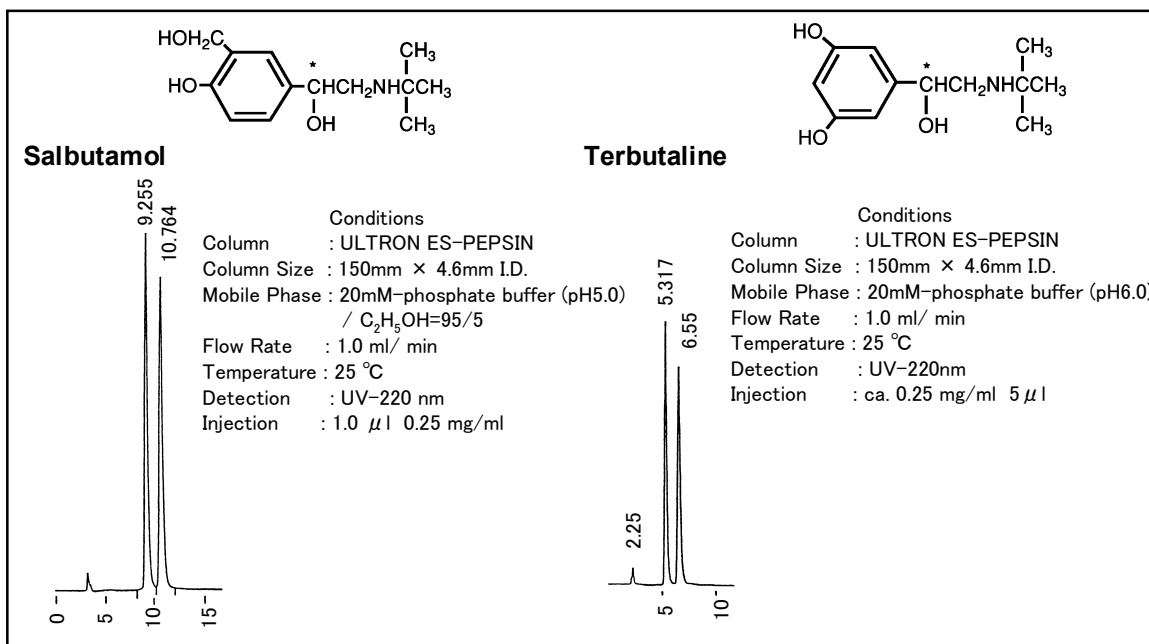
使用可能な有機溶媒と濃度、メタノール、エタノール、アセトニトリル、2-プロパノール  
いづれの場合も最大 10% です。  
溶出力 メタノール < エタノール = アセトニトリル < 2-プロパノールの順に強くなります。  
分離選択性 アセトニトリル、エタノールが優れています。

## 緩衝液の種類と濃度

リン酸緩衝液または酢酸緩衝液を使用して下さい。  
使用濃度は 10 mM ~ 50 mM が最適です。

# ULTRON ES-PEPSIN カラムの応用例

ULTRON ES-PEPSIN は中性、塩基性化合物のエナンチオマー分離に高い光学認識能を示します。逆に酸性化合物のに対しては光学認識を示しません。



仕様及び価格は改良のため予告なく変更させていただくことがございます。予めご了承下さい。

発売元

取扱店



島津GLCセンター

SHIMADZU GOOD LABORATORY COMPONENT CENTER

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-16-10 島津神田ビル3F  
TEL 03-3233-0321 FAX 03-3233-0325

〒530-0012 大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル14F  
TEL 06-6371-5278 FAX 06-6372-2600